

## 模擬授業テーマ一覧（必ず、別紙実施案内を読んでもください。）

### （１）特別支援学校「幼稚部・小学部共通」・「小学部」・「中学部」・「高等部」

特別支援学校 幼稚部・小学部共 通、小学部	≪ 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 P84・85 [生活] 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○ 2段階 (2) 内容 ケ きまり (7) 身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとする。
特別支援学校 中学部	≪ 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 P179 [職業・家庭] 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○ 1段階 (2) 内容 職業分野 A 職業生活 ア 働くことの意義 (7) 働くことの目的などを知ること。
特別支援学校 高等部	≪ 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 高等部学習指導要領 P193 [家庭] 2 内容 ≫ ○ 1段階 (1) 家族がそれぞれの役割を果たしていることを理解し、楽しい家庭づくりのための自分の役割を果たす。

### （２）各教科等・・・上記（１）以外の受験者

#### 【小学校・小中いきいき連携】

校種等・教科 (科目)	模 擬 授 業 の 内 容
小学校 小中いきいき連携	≪ 小学校学習指導要領 P30 国語 [第1学年及び第2学年] 2内容 ≫ A 話すこと・聞くこと (1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。
※ 国語・社会・算 数・理科 から一つ選 択して模擬授業を行 うこと。	≪ 小学校学習指導要領 P50 社会 [第4学年] 2内容 ≫ (2) 人々の健康や生活環境を支える事業について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解すること。
	≪ 小学校学習指導要領 P89 算数 [第6学年] 2内容 ≫ B 図形 (2) 身の回りにある形の概形やおよその面積などに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めること。
	≪ 小学校学習指導要領 P103 理科 [第5学年] 2内容 ≫ B 生命・地球 (1) 植物の発芽、成長、結実 植物の育ち方について、発芽、成長及び結実の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (7) 植物は、種子の中の養分を基にして発芽すること。

#### 【中学校】

校種等・教科 (科目)	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・国語	≪ 中学校学習指導要領 P31 国語 [第1学年] 2内容 ≫ B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

校種等・教科 (科目)	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・社会  ※ 地理的分野・歴史的分野・公民的分野から一つ選択して模擬授業を行うこと。	<p>             ≪ 中学校学習指導要領 P44 社会 [地理的分野] 2内容 ≫              C 日本の様々な地域              (3) 日本の諸地域              ② 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方           </p> <p>             ≪ 中学校学習指導要領 P51 社会 [歴史的分野] 2内容 ≫              B 近世までの日本とアジア              (3) 近世の日本              (7) 産業の発達と町人文化              産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解すること。           </p> <p>             ≪ 中学校学習指導要領 P60 社会 [公民的分野] 2内容 ≫              D 私たちと国際社会の諸課題              (1) 世界平和と人類の福祉の増大              対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。              ア 次のような知識を身に付けること。              (4) 地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解すること。           </p>
中学校・数学	<p>             ≪ 中学校学習指導要領 P66 数学 [第1学年] 2内容 ≫              A 数と式              (3) 一元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。              イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。              (4) 一元一次方程式を具体的な場面で活用すること。           </p>
中学校・理科  ※ 四つの領域の中から一つ選択して模擬授業を行うこと。	<p>             ≪ 中学校学習指導要領 P78～79 理科 [第1分野] 2内容 ≫              (1) 身近な物理現象              ア 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。              (7) 光と音              ⑦ 音の性質              音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じ空気中などを伝わり、音の高さや大きさは発音体の振動の仕方に関係することを見いだして理解すること。           </p> <p>             ≪ 中学校学習指導要領 P83～84 理科 [第1分野] 2内容 ≫              (6) 化学変化とイオン              ア 化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。              (4) 化学変化と電池              ⑦ 金属イオン              金属を電解質水溶液に入れる実験を行い、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見いだして理解すること。           </p> <p>             ≪ 中学校学習指導要領 P92 理科 [第2分野] 2内容 ≫              (6) 地球と宇宙              ア 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。              (4) 太陽系と恒星              ⑦ 太陽の様子              太陽の観察を行い、その観察記録や資料に基づいて、太陽の特徴を見いだして理解すること。           </p> <p>             ≪ 中学校学習指導要領 P88 理科 [第2分野] 2内容 ≫              (1) いろいろな生物とその共通点              ア いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。              (4) 生物の体の共通点と相違点              ⑦ 動物の体の共通点と相違点              身近な動物の外部形態の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見いだして、動物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点に基づいて動物が分類できることを見いだして理解すること。           </p>
中学校・音楽	<p>             ≪ 中学校学習指導要領 P100～101 音楽 [第1学年] 2内容 ≫              A 表現              (3) 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。              ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。              [共通事項]              (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。              ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。           </p>

校種等・教科 (科目)	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・美術	<p>《 中学校学習指導要領 P107～108 美術 [第1学年] 2内容 》</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(7) 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。</p>
中学校・保健体育	<p>《 中学校学習指導要領 P128 保健体育 [保健分野] 2内容 》</p> <p>(4) 健康と環境について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 健康と環境について理解を深めること。</p> <p>(9) 人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。</p>
中学校・技術	<p>《 中学校学習指導要領 P133 技術・家庭 [技術分野] 2内容 》</p> <p>B 生物育成の技術</p> <p>(2) 生活や社会における問題を、生物育成の技術によって解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。</p>
中学校・家庭	<p>《 中学校学習指導要領 P138 技術・家庭 [家庭分野] 2内容 》</p> <p>B 衣食住の生活</p> <p>(4) 衣服の選択と手入れ</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(1) 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。</p>
中学校・英語	<p>《 中学校学習指導要領 P149 外国語 英語 2内容 》</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① 言語活動に関する事項</p> <p>エ 話すこと[やり取り]</p> <p>(4) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。</p>

## 【高等学校】

校種等・教科 (科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高校・国語	<p>《 高等学校学習指導要領 P26 第1 国語総合 2内容 》</p> <p>C 読むこと</p> <p>(1) 次の事項について指導する。</p> <p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>
高校・ 地理歴史 (日本史)	<p>《 高等学校学習指導要領 P41 第4 日本史B 2内容 》</p> <p>(4) 近代日本の形成と世界</p> <p>イ 国際関係の推移と立憲国家の展開</p> <p>条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。</p>
高校・ 地理歴史 (世界史)	<p>《 高等学校学習指導要領 P36 第2 世界史B 2内容 》</p> <p>(4) 諸地域世界の結合と変容</p> <p>ア アジア諸地域の繁栄と日本</p> <p>西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向、明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係を扱い、16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質とそこでの日本の位置付けを理解させる。</p>
高校・ 地理歴史 (地理)	<p>《 高等学校学習指導要領 P45 第6 地理B 2内容 》</p> <p>(3) 現代世界の地誌的考察</p> <p>イ 現代世界の諸地域</p> <p>現代世界の諸地域を取り上げ、歴史的背景を踏まえて多面的・多角的に地域の変容や構造を考察し、それらの地域にみられる地域的特色や地球的課題について理解させるとともに、地誌的に考察する方法を身に付けさせる。</p>
高校・公民 (政治経済)	<p>《 高等学校学習指導要領 P51 第3 政治・経済 2内容 》</p> <p>(1) 現代の政治</p> <p>イ 現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p>

校種等・教科 (科目)	模擬授業の内容
高校・数学	≪ 高等学校学習指導要領 P59 第4 数学A 2内容 ≫ (2)整数の性質 整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。 ア 約数と倍数 素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解し、整数に関連した事象を論理的に考察し表現すること。
高校・理科 (物理)	≪ 高等学校学習指導要領 P69～70 第3 物理 2内容 ≫ (3)電気と磁気 イ 電流と磁界 (エ)電磁波の性質とその利用 電磁波について、性質とその利用を理解すること。
高校・理科 (化学)	≪ 高等学校学習指導要領 P75 第5 化学 2内容 ≫ (3)無機物質の性質と利用 イ 無機物質と人間生活 (7)無機物質と人間生活 無機物質が、その特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解すること。
高校・理科 (生物)	≪ 高等学校学習指導要領 P79～80 第7 生物 2内容 ≫ (1)生命現象と物質 イ 代謝 (ウ)窒素同化 窒素同化について理解すること。
高校・理科 (地学)	≪ 高等学校学習指導要領 P83 第8 地学基礎 2内容 ≫ (2)変動する地球 ア 活動する地球 (イ)火山活動と地震 火山活動と地震の発生の仕組みについて理解すること。
高校・保健体育	≪ 高等学校学習指導要領 P95 第2 保健 2内容 ≫ (1)現代社会と健康 ア 健康の考え方 健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。 健康の保持増進には、健康に関する個人の適切な意志決定や行動選択及び環境づくりがかかわること。
高校・農業	≪ 高等学校学習指導要領 P129 第1 農業と環境 2内容 ≫ (3)環境の調査・保全・創造 ア 環境の調査
高校・工業 (機械)	≪ 高等学校学習指導要領 P176 第13 機械設計 2内容 ≫ (1)機械と設計
高校・工業 (電気)	≪ 高等学校学習指導要領 P181 第19 電気基礎 2内容 ≫ (2)磁気と静電気 イ 静電気の基礎
高校・英語	≪ 高等学校学習指導要領 P112 第5 英語表現I 2内容 ≫ (1)生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。
高校・看護	≪ 高等学校学習指導要領 P293 第2 人体と看護 2内容 ≫ (1)人体の構造と機能 ア 人体とその構成

校種等・教科 (科目)	模擬授業の内容
高校・情報	<p>《 高等学校学習指導要領 P127 第2 情報の科学 2内容 》</p> <p>(4) 情報技術の進展と情報モラル</p> <p>イ 情報社会の安全と情報技術</p> <p>情報社会の安全とそれを支える情報技術の活用を理解させ、情報社会の安全性を高めるために個人が果たす役割と責任を考えさせる。</p>
高校・ 公民・福祉共通	<p>《 高等学校学習指導要領 P323 第8 こととからだの理解 2内容 》</p> <p>(3) 発達と老化の理解</p> <p>ア 人間の成長と発達</p>

校種等・教科 (科目)	模擬授業の内容
養護教諭	<p>《 中学校学習指導要領 P127 保健体育〔保健分野〕 2内容 》</p> <p>(2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。</p> <p>(エ) 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。</p>
栄養教諭	<p>《 小学校学習指導要領 P137 家庭〔第5学年及び第6学年〕 1内容 》</p> <p>B 衣食住の生活</p> <p>(3) 栄養を考えた食事</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(7) 体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解すること。</p>
自立活動教諭 (肢体不自由教育)	<p>《 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 P199 自立活動 2内容 》</p> <p>3 人間関係の形成</p> <p>(2) 他者の意図や感情の理解に関すること。</p>

- ◎ 表中に示されているページは、文部科学省より発行されている学習指導要領（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）のページ数を表しています。WEB ページ上のもではありませんので注意してください。
- ◎ 小学校・中学校・養護教諭・栄養教諭に関しては、平成 29 年 3 月告示の小学校学習指導要領、中学校学習指導要領からの出題です。
- ◎ 特別支援学校幼稚部・特別支援学校小学部・特別支援学校中学部に関しては、平成 29 年 4 月告示の幼稚部教育要領、小学部・中学部学習指導要領からの出題です。
- ◎ 模擬授業の内容に関する質問については、お答えできません。